

地区概要／地域の課題

【地区概要】

- 多摩ニュータウン(多摩NT)は総面積約2,900ha、東西14km、南北2～3kmの地域。
- 昭和46年に入居が開始された、人口22万人を擁する我が国最大のニュータウン。

【地域の課題】

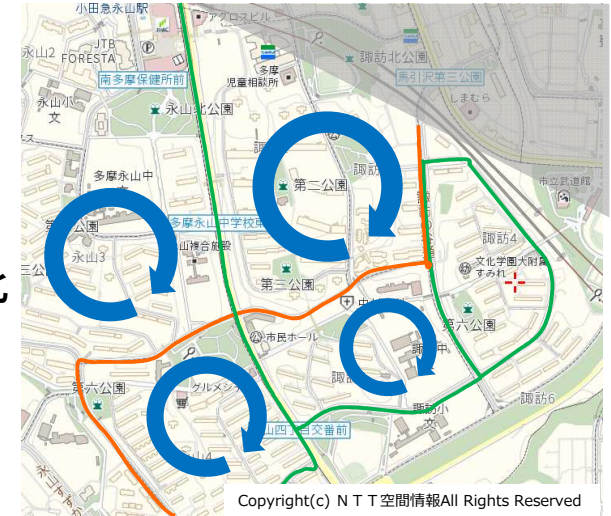
- 本実験のフィールドとなる諏訪・永山団地は多摩NTの第一次入居地区であり、高齢化・老朽化が進行。
- 駅までの幹線道路に路線バスが走っているが、通勤・通学需要の減少に伴い、バス路線の収益が悪化。運転手不足も深刻。
- 団地は丘陵地にあり、団地内の移動手段がなく、高齢者や子育て世代は外出に困難を感じている。



目指す方向性

【将来の自動運転サービス】

- 基幹路線の自動化 (バス) ——
- 支線の自動化 (ミニバス) ——
- フィーダーの自動化 ——
- ※新設 ——



【自動運転サービス導入により期待する効果】

- 1) 人手不足の解消により減便発生を回避
- 2) 人件費削減により損益分岐点低下・事業性向上
- 3) 補助金等の市の財政負担が減少
- 4) 新たな路線設定による、高齢者等の利便性向上
- 5) 乗継利用による基幹路線の強化

主に基幹
路線・支線
への導入

主に
フィーダー
への導入

計画概要

【ルート概要】

- 諏訪団地と永山団地のそれぞれの団地内にルートを設定。
(団地内道路はみなし公道)
- 幹線道路をまたいで、団地間の行き来も可能とする。



【実験の概要】

走行延長	合計1.4km
運行方式／乗降方式	定ルート方式 ただし呼び出し時のみ、指定された乗降ポイント間を運行
実験期間	2019年2月18日(月)～ 2月24日(日)(9:00～17:00)
想定利用者	団地内の高齢者、子育て世代
走行車両	トヨタアルファード
運行システム	電話およびWEBサイトを通じて予約を受付
走行方法	群馬大学のレベル2の自動運転技術 運転手が常時乗車し必要に応じ手動運転に切り替える。
安全管理	運転手の常時乗車
その他	車内にて地域商店のクーポンを配布、販促効果を測定

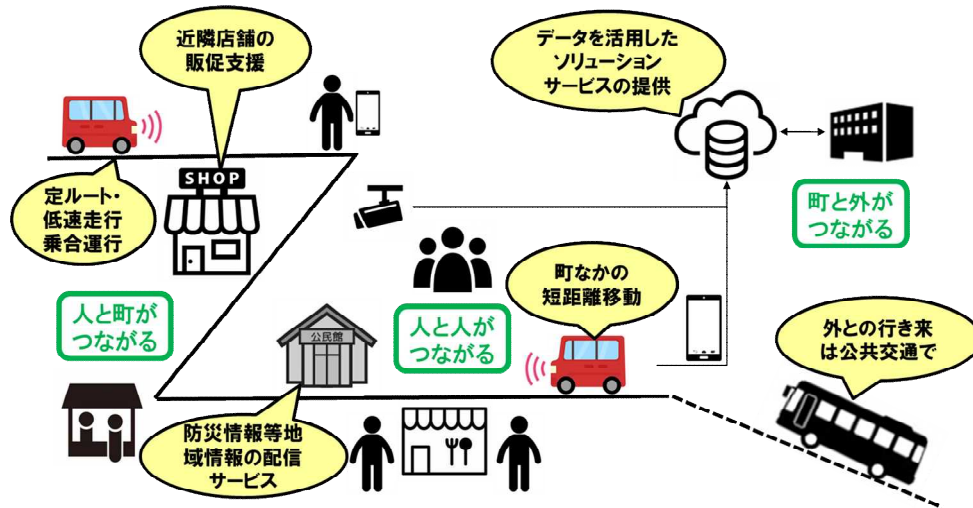
【実施体制】

京王電鉄バス株式会社	関係者協議、実証実験実施等	委託 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ	国立大学法人 群馬大学	京王バス南株式会社	交建株式会社
株式会社 日本総合研究所	進捗管理・支援、 ビジネス化検討等	実証実験の運行管制システム整備、運用	自動運転車両の貸与、 現地調律等の実証準備	運転手による実証実験の車両運行	実証実験中の停留箇所サイン設置等環境整備支援

将来ビジネスモデル

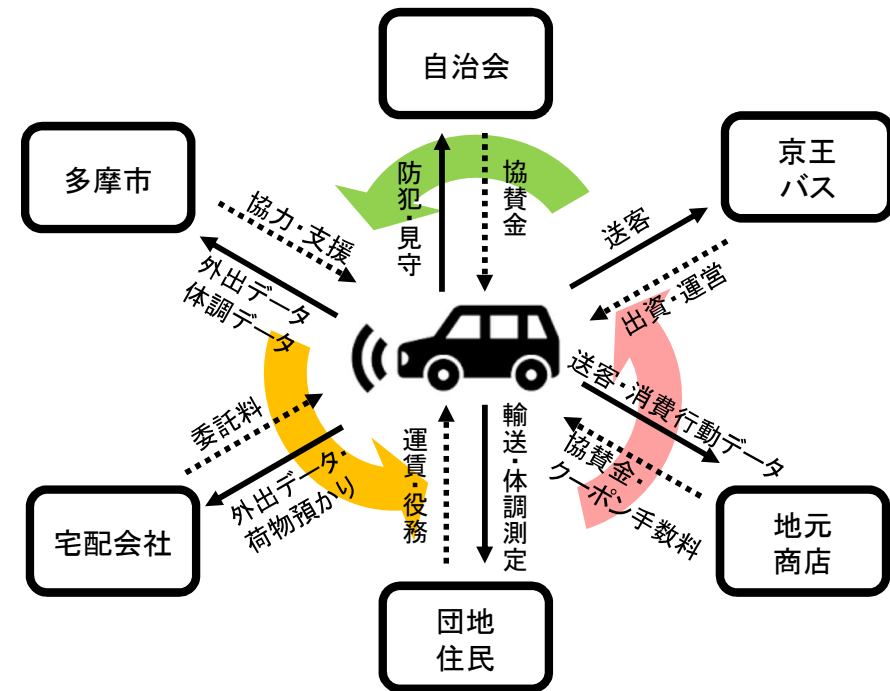
【サービスの概要】

- ニュータウンのまちなか限定で走行する自動移動サービスを想定。決められた乗降ポイントの中から乗降場所をリクエストするオンデマンド利用や、乗り合いも可能とすることを想定。
- 最寄駅との往来は、バスとの接続をシームレスにすることで対応。
- 単に移動サービスを提供するだけでなく、コミュニティのためのサービスやデータを活用したソリューションサービスを提供。



【サービスの運営体制・ビジネスモデル】

- 移動サービスだけでは収益を確保することが難しいため、収入源となる事業を複数運営。
- 各ステークホルダーにとって有用なデータを提供する見返りとして、移動サービスの運営のサポートを受け、地域(コミュニティ)で支えていくことを本サービスの運営に係る基本的な考え方とする。



【サービス導入に向けたロードマップ】

- 今回の調査を踏まえての検討事項となるが、まずはフィーダー輸送の自動化に取り組み、その後、メーカーの開発動向も見据えながら、基幹路線の自動化に取り組んでいく考え。